



2011~2012年度 国際ロータリーテーマ
Reach Within to Embrace Humanity
「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ● 副会長 牧野國雄 ● 幹事 鶴井雄仁 ● 会報委員長 小野 学 (2011~2012年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2804回 2011年9月1日 グランドホテル神奈中 週報第2804号

クラブ協議会

樋口大人ガバナー補佐をお迎えして

ガバナー補佐
挨拶



樋口大人 ガバナー補佐

会長方針 杉山善弥 会長

奉仕プロジェクト委員会 常盤卓嗣 委員長

奉仕プロジェクト委員会は、ロータリークラブの活動の原点でもある“職業奉仕”、“社会奉仕”、“国際奉仕”と関連の4委員会を含め7つの委員会があります。

各委員会がそれぞれの意義をよく理解し、連携を密にして活動を行うことを本年度も目標にしてゆきます。

それぞれの委員会の行う事業は、平塚ロータリークラブの活動の成果を会員一丸となって地域へ発信してゆく大切な運動の場であり、ロータリーの活動を地域に理解して頂く大切な場と考えています。今年度の国際ロータリーのテーマ「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」は将来に奉仕プロジェクト委員会の中で実行するすべての事業の実践の中で成果が得られると思っています。クラブ活性化の為、創立55周年の今「温故知新」の気分で各委員会事業におのおの取り組み、意見交換、情報発信、メンバー全員の参加を得られる委員会活動をしていきたいと思っています。

会員委員会 小飯塚立雄 委員長

会員拡大と退会防止はロータリーにあって最終目標ではない。しかし、未来永劫の課題でもあるような気がする。当クラブにあっては、長期計画委員会の中で、常に、重要課題の一つとして取り上げている。世代交替、年令

差のギャップ、時代背景、それらの変化に伴う価値感は適宜微調整の必要性がある。拡大無くして現状維持、発展はないが、その条件の一つとして会員の資質の問題がある。それは、とりもなおさず新入会員に接する現会員のありよう、又、それを受け止め理解をしてくれる新入会員。その為の日頃のロータリー活動の中で現会員のトレーニングも必要であるが、職業分類委(欠員職業分野のチェック、開発)、会員選考委(会員の資質、協調性、入会動機のチェック)、会員増強委(広く会員入会の呼びかけ、勧誘行動)、ロータリー情報委(ロータリーの最終目標を基に、週報、月刊ロータリー等の活用、考察)、等委員会の横の繋がりを有効活用。集められた情報を長期計画委と図り、より良き方向性を模索。加えて適性会員数をにらみながら、更なる拡大を図る。

クラブ管理運営委員会 牧野國雄 委員長

本日は大変お忙しい所、第8分区樋口ガバナー補佐にはお越し頂き誠にありがとうございます。さて、本年度のRIのテーマ【こころの中を見つめよう、博愛を広げるために】は自分自身の心を見つめ、すべての人を広く平等に愛するというご存知の意味です。言葉では簡単ですが親身になって実践するのは至難の業です。杉山会長の意を反映できるよう会員の元気、会員が出席しようと思える例会、楽しく興味深く、尚教養の足しに成る例会を、他委員会と協調して円滑に運営できるように会員に奉仕したいと思います。

- 1 楽しく興味深い話題の例会の企画は出席率の向上につながります。今回の3/11東北地震の影響は、各企業においても多大の悪い影響を与えました。例えば原発事故による放射能とは、震災復興への長い目の支援等々話題は、卓話の充実に繋がります。
- 2 地区大会、IM等ロータリーの会合に出席を促します。
- 3 スマイルボックスは、結婚記念日、誕生日、入会記念日、また家族、社員、会社のお祝い事の披露、欠席、遅刻、早退やメイキャップが出来ない時のスマイル、卓話して頂く方やお知り合いの方が出席され

<出席報告>

本日	9月1日	会員数	58名	対象者	52名	出席者	42(36)名	出席率	69.23%			
前々回	8月18日	会員数	58名	対象者	52名	出席者	39(33)名	出席率	63.46%	MUP 5名	計 38名	修正率 73.08%

た時のお礼のスマイル、他人の親切に対して感謝の気持ちのスマイル、会員自身のメッセージによる善意の寄付貢献が社会奉仕と国際奉仕の活動資金として、充実したクラブの活動の一助になります。

- 4 週刊クラブ会報による他クラブへのロータリーへの広報と欠席会員のための情報提供
- 5 月刊ロータリーの友に掲載された当 RC との関連記事の披露。
- 6 会員間の友誼と親睦をはかる様々な行事、新会員歓迎例会、クリスマス家族会（オークション、ビンゴ大会等）、春の家族会等、親睦委員会の楽しい各種企画による。
- 7 IT化による会員への情報伝達、電子メール案内、パソコンによる週報の作成

財団委員会 杉山幹生 委員長

現在の平塚ロータリークラブの財団への寄付はロータリー財団+ポリオプラスを含めて、個人が平均 1580 ドル+ポリオ 22 ドルで、合計 1602 ドルの寄付を行っています。又 2010 年-2011 年度は前年度からの継続で 21 名で 1 人 300 ドル合計 6300 ドルです。財団委員長としては秋山米山記念奨学委員長と相談しながら現在寄付を行っていないメンバーに財団の主旨を良く理解していただきロータリー財団及び米山記念基金に寄付をお願いしていく予定でしたが、3月11日の大天災以来の寄付や不景気の為、会長の指導のもと個人的なお願いを止めてクラブ員全体に声を掛け、協力を求めている方針でございます。

長期計画委員会 升水一義 委員長

近年ロータリーは多様化する社会状況、ニーズを踏まえて、長期的視野に立って組織の方向性、活動の一貫性、継続性を保つために長期計画が必要であると言われる。そしてこの長期計画をクラブ会員全員の共通認識として効果的なクラブ運営が出来るのであります。

一昨年よりの活動として、CLP 導入後の効果の検証、各委員会の活動と機能、理事会機能の強化、理事、役員の実任の明確化、委員会内の意思疎通、委員会相互の連携、それに加えて昨年度より、会員増強、奉仕プロジェクト特に継続事業の在り方、ロータリー財団、米山奨学会、指導者育成プロジェクトなどについて提言してきました。

本年度は創立 55 周年を迎え、改めて「組織の硬直化」について検証したいと考えています。「組織の硬直化」とはかつての成功の経験による前例主義、画一化、リスクを嫌うための変革回避、コミュニケーション不足などにより目標達成が難しくなり、成果も上がらなくなります。そのためにマンネリを打破し、活力を維持することが必要であります。

この検証の 1 つとして本年度は会員意識アンケート

を実施します。この結果を踏まえて将来的な方向づけの 1 つとしたいと思います。

55 周年を迎えるにあたり、名実ともに模範となるクラブを目指し、長期計画の提言を通じて、クラブの活性と会員の資質の向上に寄与できればと思います。

総 評 樋口大人 ガバナー補佐

閉会挨拶 杉山善弥 会長

<幹事報告>

◎11-12 年度奉仕プロジェクト事例紹介セミナーのご案内

日時：9/14 (水) 14:30 ~ 16:30

場所：ガバナー事務所内会議室

(対象：会長、幹事、奉仕プロジェクト、社会奉仕、国際奉仕、財団委員会各位)

◎クラブインターネット管理説明会開催

日時：9/29 (木) 14:30 ~ /15:45 ~ /17:00 ~

場所：ガバナー事務所 会議室

* 1 講習会 10 ~ 20 名、60 分程度

(対象：会長、幹事、広報、IT 委員会各位)

◎広報・IT・雑誌に関する卓話者派遣申込開始

クラブ広報の取り組み、クラブ IT 化推進への協力・支援、ロータリアン検索ネットワークに関する卓話

<メイクアップ>

5 名

小飯塚、牧野、鶴井、柳川、金谷 会員

<ゲ ス ト>

樋口大人ガバナー補佐

(平塚北 RC)

<ビ ジ タ ー>

杉本行廣様 (茅ヶ崎 RC)

<本日のスマイル>

18 名

<卓話・行事予定>

9月15日(木) プログラム委員会

22日(木) 動物学博士 吉村卓三様

29日(木) 休会(定款による)

10月6日(木) 米山学友による卓話
(地区より派遣)

13日(木) →移動例会：10/16(日)

地区大会(横須賀)

<市内例会変更>

平塚西 9/14(水) 夜間例会(逝去された会員を偲ぶ会)